

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：33007
学校名：栄中学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

分析

体力・運動能力
<男子>

- 全国平均を上回った種目
 - ・上体起こし・立幅跳び
- 全国平均とほぼ同等程度であるがやや上回った種目
 - ・20Mシャトルラン

- 全国平均とほぼ同等であるがやや下回る種目
 - ・長座体前屈・50M走・握力・ハンドボール投げ・反復横跳び

全国平均から見ると、長座体前屈や反復横跳びの差が大きく今後の課題である。体育や部活動などで柔軟性や敏捷性を高める運動に取り組ませたい。

体力・運動能力
<女子>

- 全国平均を上回った種目
 - ・上体起こし

- 全国平均を下回った種目
 - ・反復横跳び・ハンドボール投げ・50M走
- 全国平均とほぼ同等であるがやや下回る種目
 - ・握力・立ち幅跳び・20Mシャトルラン

全国平均から見ると全般的に下回っているが全市平均とほぼ同じである。ハンドボール投げと反復横跳びにおいては全市平均からも下回っているので今後の課題である。体育や部活動で筋力や瞬発力を高める運動に取り組ませたい。

運動・スポーツへの意識、運動習慣

- ①「運動やスポーツをすることが好き、やや好き」、②「保健体育の授業は楽しい、やや楽しい」と回答する子どもの割合
 - ・男子 ①94.1(95.3)②91.3%(94.1)
 - ・女子 ①79.6%(68.7)②81.9%(89.3)

- 体育の時間を除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合
 - ・男子 13.6%(10.7)
 - ・女子 32.5%(27.2) ※()はR6年度

1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の女子の割合が多い。学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属している男子86%、女子45.8%で運動部活に参加していない女子生徒が多く運動の機会が少なくなっていると思われる。

三つの取組

①体育・保健体育等の授業の充実

②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組

③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実

具体的な取組

- 保健体育授業の取組
 - ・毎時間の補強運動（腹筋・背筋腕立て伏せ・柔軟運動）
 - ・グループ活動（協力・向上心を高める）
 - ・ICTの活用（クロムブックの活用）
 - ・体づくり運動（縄跳び・各トレーニング）
 - ・新体力テストの実施（個々の体力の把握）
 - ・スキー学習の実施（1・2年）
- （インストラクターによる指導者増員、能力別少人数指導）

- 体育系の部活動
 - ・環境・時間・活動の確保と内容の充実
 - ・部活動指導員や外部指導者の活用
- 体育委員会
 - ・昼休みの体育館開放
 - ・グラウンド開放
 - ・体力向上週間（栄中ギネス）
 - ・体育体大会
- 学年集会
 - ・学年レクリエーション等

- 保健体育授業による学習
 - ・健康、安全、疾病予防等
- 養護教諭からの健康指導
 - ・体調管理、健康相談、感染症対策等
- 家庭科授業、栄養教諭からの食育指導
 - ・栄養バランス、朝食の大切さ等
- 道徳による心の指導
 - ・命の大切さ、人との関り、心の健康等
- 生徒支援部による心や悩み、いじめアンケートの実施
- 教育相談週間
- 相談支援パートナーやSCとの関わり

家庭・地域との連携・協働

- 保健体育の評価基準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等）
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査結果を活用
- 3年間の体力テストの結果の活用 ○小中一貫カテゴリー会議
- 生徒アンケートや保護者アンケート結果の活用 ○学校評議委員・学校関係者評価等の活用